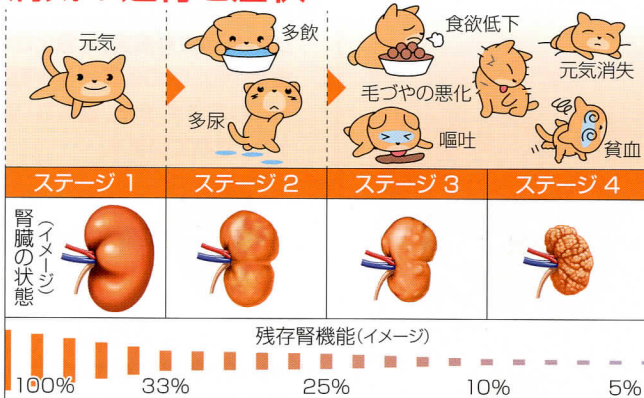


ネコの慢性腎臓病とは？

血液をろ過していないものを取り出し「おしっこ」をつくる——
そんな大切な腎臓の機能が徐々に低下する「慢性腎臓病」。
高齢のネコでは死因の上位を占めるこわい病気です。発症の
リスクは、おおよそ7-8才ごろから急速に高まるとわれています。

病気の進行と症状



「慢性腎臓病の特徴」

- 特定の原因がない
- 予防的な対応がとりにくい
- 症状が分かりにくい
- 高齢化による変化と混同されがち
- 症状に気付いた時には腎臓の機能が7割以上失われていることが多い

残念ながら、失われた機能が完全に回復することはありません。でも、
早期に治療を開始することで進行を遅らせることができます。

主な治療方法

- 療法食…………… リン、タンパク質、ナトリウムなどをおさえた食事です。早期に推奨されることが多いです。
メモ:

- ACE阻害剤… 血管を広げて血液を流れやすくするお薬です。
メモ:

- 吸着炭…………… 尿毒症物質を吸着して便と一緒に体外に排泄する効果があります。
メモ:

- 輸液…………… 脱水しがちな腎臓病のネコに病院や自宅で水分や電解質を補給します。
メモ:

- その他……………

次回チェック日

□ 月 □ 日

ネコの慢性腎臓病と治療

かかったら、どうなるの？
助けるには、どうするの？

慢性腎臓病 の 食事管理

もし腎臓病になったら

タンパク質



ナトリウム

**低減
が大事!**

でも?



いま食べている食事
+
リン吸着製品



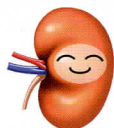
最初の一步「療法食」。

あなたの愛猫が万が一「慢性腎臓病」と診断されたら、まず必要なことは、まだ残っている正常な腎臓組織をできるだけ守ってあげること。そのために大きな効果のある方法が、毎日の食事の正しい管理です。

ネコの「慢性腎臓病 療法食」3つのポイント

① リンの低減

リンは「慢性腎臓病」を悪化させる主な原因と考えられています。食事からのリンの低減が生存期間の延長に大きな効果を発揮するといわれます。また、過剰なリンの摂取は腎臓の石灰化の原因の一つとされています。



健康な腎臓



石灰化した腎臓

※イメージ

② タンパク質の低減

タンパク質が分解されてできる老廃物の体外への排出も腎臓の役割。適度に摂取量を減らすと負担も軽減されます。

③ ナトリウムの低減

とりすぎたナトリウムの排出は腎臓の負担を増やします。



「療法食」を
食べてくれなかったら…。

まだあきらめないで! 「リン吸着製品」の出番です!



「リン吸着製品」とは?

あなたの愛猫がいま食べている食事に混ぜるだけで食事からのリンを吸着し、低減します。

「慢性腎臓病 療法食」と「リン吸着製品」について詳しくは、院内スタッフにご相談ください。